

眞意の結果として、衆議院のあるべき討論するに辭入つて居る。本会雖も並  
 谷工組お其提案の案に苦慮するに其の今回の附置の權する効力の  
 こと「後編附置の權する事項を包含する」等國聯合を單附とせる意  
 ある、然るに今年に至つて面も突然其の志を全然變行し其日附中  
 室の附置の旨の式を主として工組を單附として行つて來たもの  
 工組の附置するに衆議院の議に對し其提案お其提案の權して一  
 後編附置の權を附置するに其志を變行するに其の權を附置して一  
 從一工組の附置の權

後編附置の權を附置するに其志を變行するに其の權を附置して一  
 (第一編)

常務理事 新田 耀一 朗讀

大正十三年三月三日

財團法人協同會大阪支所

じ今回の方法に對しては可なり猛烈なる反對の意見を有し批難續  
 出の有様である

第二其理由

其理由とする處を綜合すると吾々工場は營利を目的とするも常に  
 國家的見地に立つを忘れず深く世想を洞察して其對策を構じ如何  
 なる不況時にも尙且つ職工には能ふだけの賃金を支給し福利の増  
 進を企て其誤まらざらんことを期して居つた、幸にして大多數職  
 工は其趣旨をよく良解し現存の労働組合に加入せず就業して居る  
 次第である

労働組合に就ては労働組織の可否は兎も角既存の労働組合に對し  
 て穩健美實なるものなれば誰かよく完全無缺の讚辭を呈するもの  
 があらうか多數職工の加入せざる理由の一つ又此處に在るのであ  
 る、然るに今年の代表選出に當つてたこへ抗議を受けたりとは云  
 へ突如として新方法を採用したる爲昨年までの選舉方法によつて

月 選挙方法其  
 自任の理由に  
 理由